

# きゅうしゅう

NO.44



写真提供：米海軍佐世保基地



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



## 目次 CONTENTS

### 1. 部隊紹介

海上自衛隊佐世保地方総監部

### 2. 自治体紹介～長崎県佐世保市～

### 3. 業務紹介 施設取得課

### 4. インフォメーション

(表紙について)

エアクッション艇(LCAC)は、水陸両用作戦や人道支援・災害救助活動を支援するため、長崎県西海市に所在する在日米海軍第7海岸揚陸艇部隊に配備されています。当該艇は、乗組員数5名、長さ約27メートル、幅約14メートルで、海面に空気を吹き付けて浮上し、船尾にある大型の扇風機のようなプロペラを回して進行するため、海上から海岸の砂地へ移動が可能であるなど、適正上陸地を選ばない利点があります。







# 部隊の様子

下関基地隊



訓練中の掃海艇

沖縄基地隊



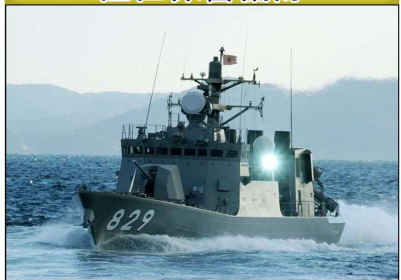
係留中の支援船

佐世保教育隊



新入隊員によるサービスの宣誓

佐世保警備隊



高速航行中のミサイル艇

対馬防備隊



庁舎前の風景

佐世保弾薬整備補給所



弾薬検査

佐世保造修補給所



支援物資搭載

佐世保基地業務隊



隊員による調理作業

佐世保衛生隊



負傷者への医療支援

佐世保音楽隊



ファミリーコンサート

佐世保市防災訓練



護衛艦「いせ」への急患輸送

地域との交流



護衛艦カレーグランプリ



## 2. 自治体紹介



ともなが のりお  
佐世保市長 朝長 則男



ひと・まち育む  
“キラっ都”佐世保

～自然とともに市民の元気で輝くまち～

### 市長あいさつ

佐世保市は、九州の西北端、長崎県の北部に位置する、市域面積約426km<sup>2</sup>、人口約25万人の県内第2の都市です。また、本市は観光のまち・基地のまち・国際都市など、多様性がある複合産業都市で、このほかにも市町村別漁獲量全国第2位を誇る水産都市、高級ブランドみかんや長崎和牛など農畜産業のまち、元気な商業都市など多彩な側面があり、昨年7月には、このような本市の多様性を受け入れる風土などが認められ、野村総合研究所の「成長可能性都市ランキング」において、全国主要100都市中第10位と評価されました。

特に、県内一の観光客数を誇り、観光都市としてのまちづくりを進める佐世保市には、本年4月に「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定された「西海国立公園九十九島」や、7月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録された「黒島の集落」など、豊富な観光資源があります。

本市の象徴とも言える佐世保港は、近年、国際観光クルーズ客船の受入体制整備を進めており、本年7月からは16万トン級の大型船も入港できるようになりました。多くの外国人観光客の皆さまが本市を訪問されており、今後もさらなる観光客増加が見込まれています。

さらに、海軍鎮守府開庁を起点として、来年は開港130周年を迎えることから、様々なイベントや記念行事を予定しております。皆さまもぜひ、この機会に魅力あふれる佐世保市にお越しください。

### 基地との共存・共生

本市には、米海軍佐世保基地、海上自衛隊佐世保地方總監部、陸上自衛隊相浦駐屯地等の防衛施設が所在し、とりわけ佐世保港には、米海軍、自衛隊、民間企業等の施設が混在していることから、それぞれが本来の機能を十分に発揮できるよう、前畑弾薬庫の移転・返還等の「新返還6項目」の早期実現を図り、佐世保港のすみ分けの推進に努めています。

また、本年3月には島嶼防衛を主任務とする陸上自衛隊水陸機動団が新編され、その隷下である水陸両用車部隊の本年度末までの配備に向けて、崎辺西地区において施設整備工事が実施されており、さらに崎辺東地区においては、大型岸壁等を含む海上自衛隊による利活用計画が示されています。

我が国を取り巻く安全保障環境を鑑み、防衛施設が所在する自治体として、これら国防上必要とされる自衛隊施設の整備・充実について、引き続き、できる限りの協力をしていきたいと考えております。

本市としましては、米海軍、自衛隊の所在による様々な制約を極力軽減させるよう、必要な対策を講じながら、一方で、その所在によってもたらされる雇用や経済、市民活動ほか、地域の活力に与える効用を広く市民が享受し、自衛隊や米海軍に対する親和的な感情が醸成されることで基地の安定的な運用に繋がるといった、相互理解に基づく互恵的な関係の構築を図ることが大変重要であり、この「基地との共存・共生」を基本姿勢として、市政運営を行っています。

米海軍、自衛隊とされても、佐世保市総合防災訓練への参加、基地等の一般開放、交流事業ほか、様々な場面において本市はもとより、市民との交流機会の創出に努めていただいているところです。このように長期にわたり構築されてきた米海軍、海上自衛隊、陸上自衛隊と佐世保市との良好な信頼関係の下、今後とも、市民と基地が共存するよりよいまちづくりを推進してまいります。



### 九十九島(くじゅうくしま)

佐世保湾の外側から北へ約25キロにわたり点在する大小208の島々がある海域を「九十九島」といいます。島の密度日本一の多島海で、ほぼ全域が「西海国立公園」に指定されています。

九十九島は2018年4月、世界の著名な湾が加盟する国際NGO「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定されました!



### 展海峰(てんかいほう)

九十九島を一望できる展望台へは、西九州自動車道佐世保中央ICより約20分。1haの花畑では、春は菜の花、秋はコスモスが楽しめます。



### 佐世保港街グルメ

#### 海軍さんのビーフシチュー

佐世保に縁が深いといわれる東郷平八郎がイギリス留学中に出会い、日本に伝えたというビーフシチュー。明治時代の海軍のレシピをもとに各店がアレンジを加えたものが楽しめます。



#### 佐世保発祥 レモンステーキ

日本人の口に合うステーキを!という発想のもとに食べやすい薄切り牛肉がアツアツの鉄板で運ばれてくるステーキ。このステーキに欠かせないソースは、醤油ベースでレモン果汁たっぷりの爽やかな味わい。



▲九十九島遊覧船パールクイーン

#### 九十九島パールシーリゾート

九十九島水族館「海きらら」、九十九島の大自然・生態系を展示した「九十九島デジタルセンター」、遊覧船での島めぐりやマリトレジャーなど様々な九十九島の魅力を体験できる複合施設。

真かきは10月~3月が旬 夏は牡蠣もあつよ!



#### ▲九十九島かき食うカキ祭り

11月と2月の土日祝に開催。九十九島パールシーリゾートで開催されるセルフのバーベキュースタイルで楽しむ恒例イベント。会場には400台の焼台がズラリと並びます。九十九島かきは小ぶりできゅっつまった濃厚な味わい。

#### 佐世保バーガー

昭和25年ごろ、アメリカ海軍から直接レシピを聞いて作り始めたのがその起源といわれています。最大の特徴は、注文を受けてから手作りする。店ごとに大きさや味などこだわりもさまざま。具材のバリエーションも多彩です。



#### 祝・世界遺産登録!

平成30年7月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産のひとつとして、「黒島天主堂」を含む「黒島の集落」が登録されました。

※平成30年11月以降、黒島天主堂の耐震工事が予定されており、内部見学ができません。詳細は、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンターまで。電話 095-823-7650



#### アクセス

相浦港から黒島旅客船フェリーで約50分

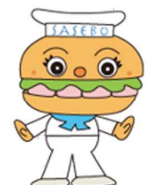


#### アクセス

- ・長崎空港 バス(高速)約90分
- ・福岡 バス(高速)約90分  
JR(特急)約110分
- ・長崎 バス(高速)約90分  
JR(快速)約100分



佐世保バーガーボーイのお友達 させぼのポコちゃん



佐世保バーガーボーイ



### 3. 業務紹介

#### ▶ 施設取得課の業務

◆ 施設取得課では、現地部隊のニーズに基づいて、自衛隊及び在日米軍が使用するための土地・建物等の取得(買収及び賃貸借等)に関する業務、並びに米軍が有料道路、飛行場及び港湾を使用した場合に道路管理者等が被る使用料相当額の補償に関する業務を行っています。

◆ 管轄区域は、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県の北部九州4県で、有料道路、飛行場及び港湾の補償に関する業務は九州全域を管轄しています。



#### ▶ 取得事例紹介

### 「水陸機動団」配備に向けて

— 陸自 相浦駐屯地 崎辺分屯地用地を取得 —

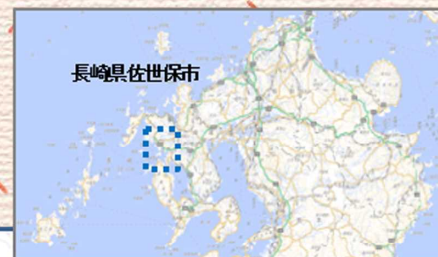
■「防衛大綱」及び「中期防衛力整備計画(平成26年度～平成30年度)」に基づき、島嶼への侵攻があった場合、速やかに上陸・奪回・確保するための本格的な水陸両用作戦能力を備えた「水陸機動団」を平成30年3月に相浦駐屯地に新設。配置される水陸両用車部隊の任務遂行に必要な分屯地を開設するため当該用地を平成28年度に取得。



※「陸上自衛隊HPより引用」



※「国土地理院撮影の空中写真(2007年撮影)」をもとに作成



※「国土地理院の電子地形図(タイル)」をもとに加工



## 4. インフォメーション

### 「えびの市防災食育センター」が完成

宮崎県えびの市において、防災活動施設及び学校給食施設としての機能を備えた「えびの市防災食育センター」が完成し、平成30年8月21日(火)に落成式が行われ、三貝哲九州防衛局長が来賓として出席しました。

落成式では、村岡隆明えびの市長が式辞の中で「災害に強いまちづくりを推進するために、平時より防災学習を行うことのできる施設を整備するため、防衛省のまちづくり支援事業を活用し、平成二十七年度から進めて来た。」と述べるとともに関係者に謝意を表しました。次に、三貝九州防衛局長が、「今般、霧島演習場周辺における防災活動施設の拠点として、防災食育センターの整備に係る補助をさせていただいたところ、九州防衛局としても、こうした事業を通じてえびの市の発展に微力ながら貢献できるのは、この上ない喜びです。」との祝辞を述べました。

当該施設は、鉄骨造地上2階建てで、1階には調理室及び事務室等があり、2階には会議室及び見学通路等が設けられています。

災害発生時には自家発電設備により停電時にも稼働し、備蓄倉庫に保存可能な食材を保管することができます。

九州防衛局は、本事業に関し、防衛施設周辺民生安定施設整備事業(まちづくり支援事業)として、約11億円の補助金(総事業費の10分の7.5)を支援させていただいています。



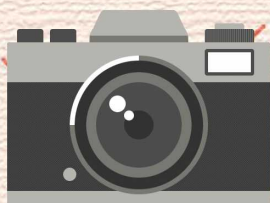
▲式辞を述べる村岡えびの市長



▲祝辞を述べる三貝九州防衛局長



▲調理室



▲施設外観



## 感謝状贈呈～九州防衛局入札監視委員会委員～

平成30年9月3日（月）福岡市中央区の監査法人有明において、九州防衛局長感謝状贈呈式が行われ、九州防衛局入札監視委員会委員として長年にわたりご尽力いただいた清水秀幸氏と増永弘氏に対し、関正人総務部長から感謝状が贈呈されました。（増永氏は所用により別途贈呈。）

清水秀幸氏は平成21年8月から平成30年7月までの9年間、増永弘氏は平成24年7月から平成30年7月までの6年間委員を務めていただきました。

今回の感謝状は、九州防衛局及び熊本防衛支局が締結した契約について、入札参加資格の設定経緯及び落札者の決定の経緯等の審議を行う入札監視委員会での両委員の意見や助言が適正な入札及び契約業務に大きく貢献されたことに対し、深い謝意を表するものであります。



▲清水秀幸氏（右）と関総務部長

## 平成30年度九州防衛施設地方審議会

平成30年10月16日（火）、平成30年度九州防衛施設地方審議会が、田中里美会長をはじめ委員7名の出席を得て開催されました。

今回は、「陸上自衛隊の佐賀空港利用について」の概要説明が担当者から行われました。

その後、委員の方々は、陸上自衛隊目達原駐屯地の視察を行いました。



▲審議会の様子



▲記念撮影



▲目達原駐屯地広報史料館



# 平成30年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

平成30年10月23日(火)米海軍佐世保基地の厚生施設「ハーバービュークラブ」において、平成30年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍施設に永きにわたり勤務された129名の従業員に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、来賓として長崎県を始め、佐世保市、西海市を代表する方々、佐世保労働基準監督署長、全駐労長崎地区本部執行委員長にご臨席いただき、日米両国国歌吹奏の後、主催者挨拶として三貝哲九州防衛局長から「皆様方の日頃の御労苦と御努力に対し、心から敬意を表します。あわせて、皆様と苦楽を共にしてこられた御家族の方々の、暖かい御支援に深く感謝申し上げます。」と式辞が述べられました。また、ブラッド

L. ストーリングス米海軍佐世保基地司令官から「佐世保は大変評判の高い基地です。これは在日米軍従業員の皆様のお陰であると私は確信しています。これまで献身的に仕事に打ち込んでこられた皆様お一人お一人に敬意を表します。」と式辞が述べられました。

引き続き、勤続年数に応じ30年、20年、10年ごとに表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、SRF日本地区造修統括本部佐世保分所の村上誠治氏が、「日米両国の関係者の皆様、同僚、友人の温かいご指導、ご協力に深く感謝いたします。私たちは、これからも困難を乗り越え、良好な日米両国関係を維持するために、一層努力する所存です。」との答辞を述べられ、厳粛な雰囲気の中、式典は滞りなく終了しました。



▲三貝哲九州防衛局長の式辞



▲ストーリングス米海軍佐世保基地司令官の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表答辞

## お知らせとお願い

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。

安全確保のため、御理解をお願いいたします。

**米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為です。行わないで下さい。**

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。

防衛省・警察庁・国土交通省・外務省

■本チラシの内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のいずれかの部署に御連絡願います。

防衛省本省	地方協力局	地方協力企画課	(代表) 03-3268-3111 (内線: 36245、36047)
防衛省九州防衛局	総務部	報道官	(直通) 092-483-8813



# 在日米軍従業員募集

## 日本の「アメリカ」で働きませんか 「エルモ」が応援！あなたの就活！



インターネット及び携帯電話による応募を受け付けております。



【スマートフォンの方はこちら】

【ホームページアドレス】  
[https://oubo.lmo.go.jp/oubo\\_pub/keisai/](https://oubo.lmo.go.jp/oubo_pub/keisai/)

【携帯電話の方はこちら】



詳細な情報や応募方法については、パソコン、スマホからLMOで検索。または、下記へお問い合わせ下さい。

独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。エルモ佐世保支部では、主に米海軍佐世保基地に勤務する従業員の募集活動を行っています。

### ● 在日米軍従業員の位置付け

在日米軍従業員は、国（防衛大臣）に雇用されますが、使用者は在日米軍となっています。そのため、祝日は米国のもが適用になりますが、社会保険、労災などは日本の制度が適用になります。（身分は国家公務員ではありません。）

### ● 主な職種

職種は多岐にわたっており、要求される英語能力は異なります（英語能力が求められない職種もあります）。

職種の選び方	職種	業務内容
英語ができる！ 資格を持っている！ 経験がある！	事務・技術関係	庶務、会計、通訳、建築、土木、機械など
	技能・労務関係	補修、点検、運転、清掃、販売、ウェ이터・ウェイトレスなど
体力に自信がある！	警備・消防関係	警備員、消防員など

その他、医療・看護関係の職種やパートタイムもあります。

募集パンフレット  
(平成30年度版)



在日米軍従業員募集案内パンフレットを佐世保支部で配布しています。また、エルモホームページからも閲覧できます。

<https://www.lmo.go.jp/recruitment/index3.html>

### 【お問合せ】

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】  
佐世保支部管理課管理係



住所：佐世保市平瀬町3-1  
電話：0956-23-7191

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、  
休日は終日。